

【申告書の記入例】

※所有している資産の内容に異動がない場合は、氏名等を確認のうえ『18 備考』欄に『異動なし』と記載して、申告書のみ提出してください。

・住所、氏名があらかじめ印刷されて送付された方で、変更のある場合は、横線を引き、訂正してください。
なお、印字されていない場合は手書きで記入してください。

・電話番号を記入してください。
・押印は任意です。

申告書を提出する年月日を記入してください。

個人番号又は法人番号をご記入ください。

4 事業種目
・事業の種目を具体的に記入してください。
・法人の場合は、資本金又は出資金等の金額も記入してください。なお、金額の単位は「百万円」です。

5 事業開始年月
・事業開始年月を記入してください。

6 この申告に対応する者の係及び氏名
・申告の担当部署、担当者名及び電話番号を記入してください。

8～14
・該当する方に○をしてください。

7 税理士等の氏名
・税理を委託している税理士等の氏名及び電話番号を記入してください。

15 所在地
・事業所等の資産の所在地を記入してください。
なお、所在地が二ヶ所以上ある場合は、それぞれの所在地名を記入し、主たる所在地の番号に○をしてください。

16 借用資産
・借用資産の有無について、該当する方に○をしてください。
借用資産がある場合は、貸主の名称等を記入してください。

17 所有区分
・該当する方に○をしてください。

18 備考
・添付した書類の名称及び枚数を記入してください。
・納税管理人を定めている場合は、その者の住所、氏名を記入してください。
・資産の異動が無く、昨年の申告内容と変更がない場合は、「異動なし」と記入してください。
・該当資産がない場合は、「該当資産なし」と記入してください。
・課税標準の特例がある場合は、赤字で「課税標準の特例あり」と記入してください。

前年前に申告された償却資産の取得価格を、資産の種類別に記入してあります。

※前年中に減少したもの(ロ)
前年1月2日から当年1月1日までの間に減少した資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。

前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)				前年中に取得したもの(ハ)				計[(イ)-(ロ)+(ハ))							
	十	百	千	円	十	百	千	円	十	百	千	円	十	百	千	円
325 000					6 000 000	0	0	0	8 000 000	0	0	0	325 000	14	801	794
12 801 794																
13 126 794					6 000 000	0	0	0	8 000 000	0	0	0	15 126 794			

資産の種類別

資産の種類	取得価格(イ)				減価償却額(ロ)				減価償却後の取得価格(ハ)			
	十	百	千	円	十	百	千	円	十	百	千	円
1 構築物												
2 装置												
3 船舶												
4 航空機												
5 車両及び運搬具												
6 工具、器具及び備品												
7 合計												

資産の増減結果を合計した数値を種類別に記入してください。

※前年中に取得したもの(ハ)
前年1月2日から当年1月1日までの間に取得した資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。

種類別明細書 1枚
異動なし
該当資産なし
課税標準の特例あり

18 備考
・添付した書類の名称及び枚数を記入してください。
・納税管理人を定めている場合は、その者の住所、氏名を記入してください。
・資産の異動が無く、昨年の申告内容と変更がない場合は、「異動なし」と記入してください。
・該当資産がない場合は、「該当資産なし」と記入してください。
・課税標準の特例がある場合は、赤字で「課税標準の特例あり」と記入してください。